



*特別寄稿*泥かきボランティア体験談

石巻ボランティアに 参加しました その①



友人と2人で、「アースデイ東京タワー」からバスボランティアチーム(泥かき隊)に申し込んで、石巻市へのボランティアに参加してきました。翌日は、いろんな疲れで起きられず、肉体の疲れはそうでもなかったのですが。。被災者の方とお話することもなかったため、作業および感じたことを自分の記録のために書きました。精神的、哲学的なところは全くありません。自分の非力さ、政府の無力さ(怠慢さ)を実感した経験でした。

東京在住の内田恵美子さんが、『NPO法人エコツーリズム・ネットワーク・ジャパン』主催の一泊二日のボランティアツアーに参加した感想を書き留めてくださいました。現場からの貴重な生の声を、ご本人のお許しをいただいで全文掲載します。

週刊 東北に黒糖を送ろう! 大作戦

げんき

しんぶん

(1日の報告)

早朝、石巻から約30分のサービスエリアに到着。到着前の最後の休憩所となる。地震の影響はほとんどないようで、建物の被害も見受けられない。暫くして、石巻到着。バスは川べりの道を市内に向かって走るのだが、満潮のせいか水面がやけに近く見えて、かなりの恐怖。雨が降って降っているわけでもないのに、道路も一部冠水。市内に近づくにつれ、被害を受けた家や漂流物が見受けられる。

今日は雨が降っているので、活動を制限されるボランティア団体も多いとのこと。私たちは当初予定の民家の片づけから、屋内でできる活動に変更。港中学に決定。現地到着。校庭は、流れ着いた車や家の残骸で埋め尽くされている。そして、なんとも表現できない匂い。刺激のあるというタイプの匂いではなく、腐った潮の匂い。しばらくするとある程度は慣れたが、防塵マスクなしでは多分長居できなかつたと思う。

体育館わきのエリアは、2週間前に別部隊が泥かきをし、1階の汚泥は大方片付いていたが、今回はここを人が利用できるくらいきれいにするというのが20名ほどのチームの目標となった。1階担当と2階担当の2班に分かれ、作業開始。友人と私は2階担



当となった。2階の最初の掃除場所はトイレ。トイレの個室には、汚物があふれかえっていて、私はショック状態。泥は覚悟してたけど、汚物とは。。電気も水もないなか、また道具もそろってはいないなかどうやって片づけるのか。。勇気ある人が手袋をした手で、一気にビニール袋に収容。私にはできなかった。ごめんなさい、気持ち悪い。

ある程度片付いたら、あとは雨水をバケツに汲んできて、たまった泥をデッキブラシで洗い流す。ここは何とか参加。でも要領が悪くて、同じ組の人には申し訳ない。当面、水を汲んでくる係に徹する。30分ほどで、女子トイレが片付きそれなりにきれいになり、次は階段を2階から1階にきれいにしていく。津波は1階の天井付近までだったようで、2階はそれなりにきれいだったが、階段を下りるにしたがって、壁、手すり、窓、床に汚泥のあとが顕著になる。途中からは、雑巾で拭いているのか、よさをただなすりつけているのかかわからない状態。もう少し降りると雑巾ではらちが明かなくなり、壁をデッキブラシでのごしごしすりながら進む。友人は、途中の窓に土がつまり、窓が開かない状態になっているのをきれいにすることに決めたらしい。終わったころには割れた窓以外は、通常と同じくらいきれいになっていた。お疲れ!

(2)に続く

号外 1

「天ぶらバスで行くボランティアツアー」主催・NPO法人エコツーリズム・ネットワーク・ジャパン(日本エコツーリズムセンターとは別の団体)、共催・アースデイ東京タワー・ボランティアセンター
 金曜夜に新宿駅西口を出発(車中泊)~土曜日早朝に石巻市ボランティアセンター着~作業~夕方現地(石巻)出発~夜新宿駅西口到着、解散(内田さんの参加は4月22日~23日)
 参加費は8千円+カンパ(通常新宿~石巻間の高速バスは1万円以上)

毎週火曜日発行予定

募金箱設置場所(5月9日17時現在・順不同)..
 [東部地区]ラ・ティータ西表 宇南風見 大原港ターミナル(竹富町観光協会、八重山観光フェリー) 大富売店 [西部地区] ゆりみな(上原港ターミナル) スーパー川満 西部歯科診療所 santa nu neene カフェなかくい ダイビングチームうなりざき 民宿パイン館 民宿あげぼの館 民宿母家 マリンロッジアトク 西表島エコツーリズム協会 紅露工房浦内川観光 イルンティフタデムラ 星砂スーパー 金城旅館 [波照間]
 (現愛、新展開準備中のため募金はお休みしております)